

どうすれば 「5」 がとれる？

皆さんこんにちは、ニスコの「原田」です

いよいよ中学生としての生活が始まりますね。

大きな期待と少しの不安を抱きつつ新生活のスタートを楽しみに待っているところでしょうか？

中学校では様々なことが小学生生活と異なりますが、中でも成績のつき方とその数字は今後を大きく左右することを知っておいてください。

北海道の公立高校受験では内申ランク(内申点)というものが大きな影響を持っています。

乱暴な言い方をすると「**受験資格の有無**」と考えることができます。

各高校には最低ランクというものが存在しこのランク(内申点)を少なくともクリアしていなければ合格は極めて難しいということが言えるのです。

それでは内申ランクの計算方法をご説明していきましょう。

- ① 1年次9教科の5段階評定の合計を2倍します。…… a
- ② 2年次9教科の5段階評定の合計を2倍します。…… b
- ③ 3年次9教科の5段階評定の合計を3倍します。…… c
- ④ a、b、cの合計を出して下記の表にあてはめてランクを割り出します。

* 中1生は評定合計を7倍すると暫定的数値を計算できます。

内申点	ランク	備考	合格者平均ランク	合格者最低ランク
315 ~ 296	Aランク	オール 5	札幌南・北・西・東	
295 ~ 276	Bランク		札幌旭丘・月寒・北広島	札幌南・北・西・東
275 ~ 256	Cランク			札幌旭丘・月寒・北広島
255 ~ 236	Dランク	オール 4	千歳普	
235 ~ 216	Eランク		千歳流・教	千歳普
215 ~ 196	Fランク		恵庭北	千歳流・教
195 ~ 176	Gランク	オール 3	恵庭南	恵庭北
175 ~ 156	Hランク		千歳北陽	恵庭南
155 ~ 136	Iランク			千歳北陽

* 上記資料は道コンデータから算出しています。

* 最低ランクは定員の1割以上の合格者が輩出されている最下位ランクを表示しております。

* 学力点重視枠は加味しておりません。

評価5を取るためには！

評価を得るためには大きく2つの事柄に着目してはなりません。

1つめは「**平常点**」です。

これは、授業を受ける姿勢、提出物の仕上がり具合や期日に対する状況、更には授業中の発言など、授業全般に於ける取り組み方が評価されるもので評価の4割を左右していると言われています。

ただ、同じ授業態度でも受け取り方が教諭によって異なっていたり、何が最善かをその都度判断が必要となり、生徒によっては混乱してしまうかもしれません。

もう1つは「**定期試験の点数**」で、こちらは評価の6割を左右していると言われています。

ひとつの目安は「**85点**」です。

1年間を通して定期試験は4回ありますが、平均点が85点をを超えていると評価が5になるといわれています。

	前期中間試験	前期期末試験	前期平均点		前期評価
パターンA	100 点	70 点	85 点	→	5
パターンB	85 点	85 点	85 点	→	
パターンC	70 点	100 点	85 点	→	

極端ではありますが、3つのパターンを例示してみました。

いずれも平均点は「**85点**」となりますが実際問題としてパターンBやパターンCは生徒にとってかなり過酷な勉強を強いられることになってしまいます。

例えば、下記の表をご覧ください。

これは、令和5年度に於ける「**勇舞中1英語**」の平均点推移です。

	前期中間試験	前期期末試験	後期中間試験	学年末試験
	76.1	64.8	49.8	54.6
前期中間との差	—	-11.3	-26.3	-21.5

2回目以降のテストでは明らかに難易度が上がり、高得点を取り難いテストに変化していることが一目瞭然であることがお解り戴けると思われます。

ちなみに、他教科でも前期中間試験の平均点が年間を通して一番高い数値になっており言い換えると、前期中間試験でスタートダッシュを決めた生徒が圧倒的に有利に1年を過ごすことができるのです。

つまり、前期中間試験を「**様子見**」とすることは大変危険な行為であると言わざるを得ません。

新年度当教室に於いて「**スタートダッシュ講座**」を実施いたします。

「**勉強の仕方**」にお困りの方は是非お問い合わせください。

ニスコパーソナル 勇舞